



## 国内におけるSaaS/PaaS利用動向

---

### Google App Engineから見る クラウド時代のサバイブ術

(c) ウェブコア株式会社：柴田 淳

# Google App Engineとは

---

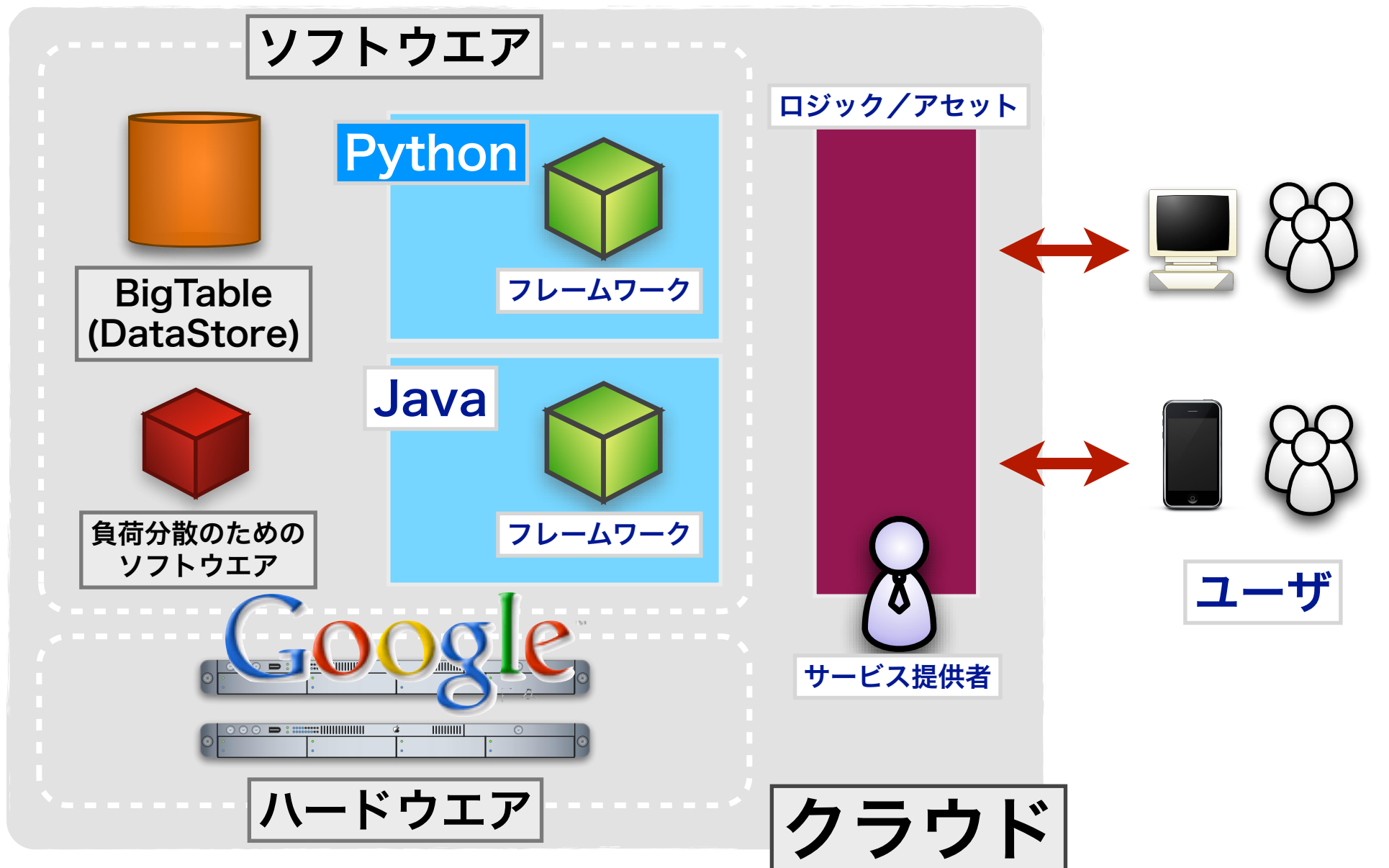
- Web上のサービスを作るための環境
  - Webアプリケーション
  - Webサービス etc
- Googleのインフラを利用
  - スケーラブル
  - チープ

# 事例：Google さがそう





# PaaSとしてのApp Engine



# Google App Engine for Business

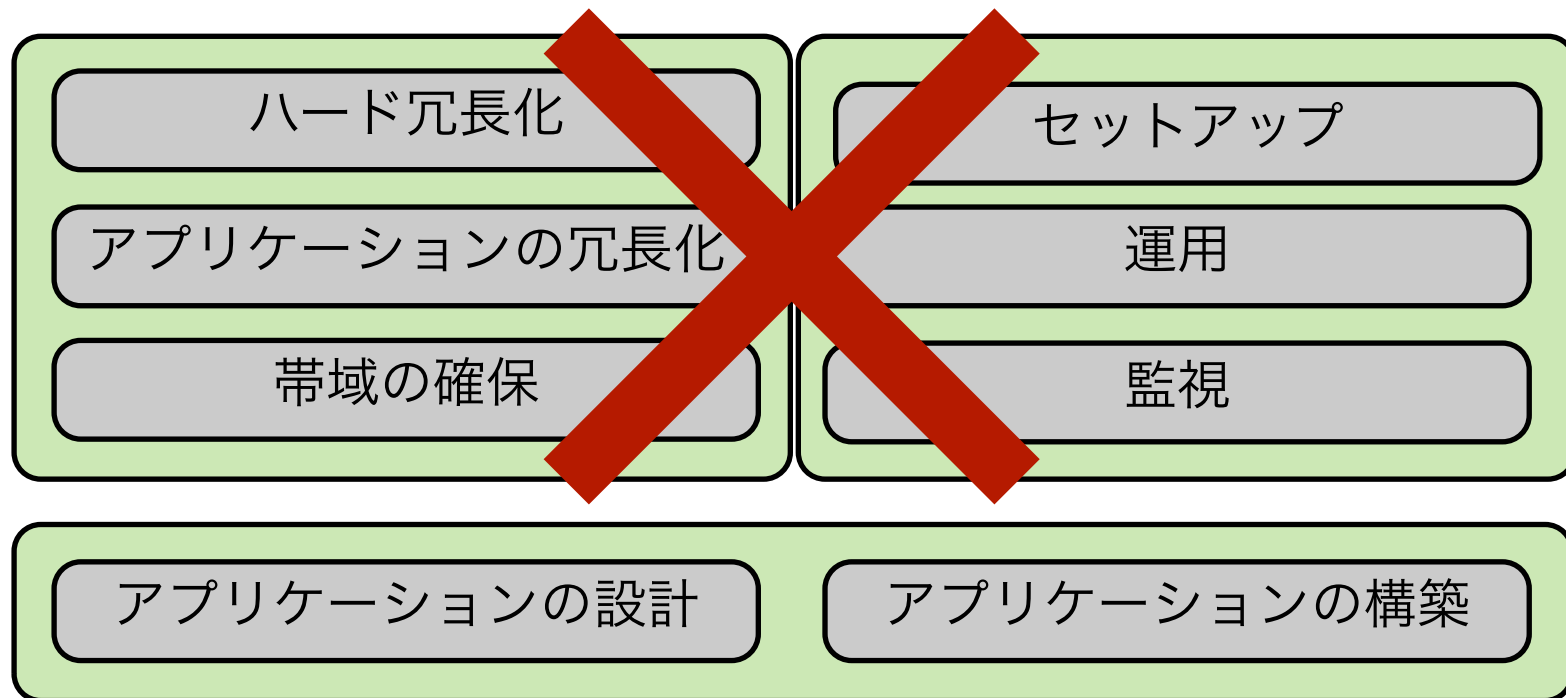
---

- リレーショナルデータベースのサポート
- サービス可用性保証(99.9%)
- サポート
- 月額固定料金の提供
- 2010年中に段階的にリリース予定

# Google App Engineとはなにか？

---

- 破壊的イノベーションの一種
- スケーラブル, 手軽な運用



# スケーラビリティ

---

- App Engine自体がスケーラブル
  - Key Value型(KVS)データベース(非RDB)
  - 冗長化の仕組みを内蔵
- Googleが自社SaaSに利用する技術を使用
  - Google Apps, Gmail, YouTube etc.
- 負荷にあわせて自動的にスケールアウト

# 高い信頼性

---

- Googleのソフトウェア, インフラを活用できる
  - 長年実働し, 多くのユーザが使うGoogleのシステムとベースが同じ
- Googleがネット上で様々なサービスを大規模に展開しているインフラを活用できる

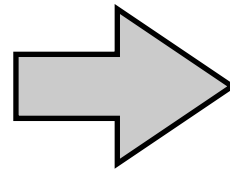
Webアプリケーションの運用を  
Googleにアウトソース

# チープ

---

- スケーラブルなWebシステムを作るための費用対効果が高い
  - 開発コスト， 運用コストが低く済む
- 多くのアクセスを集めるタイプのWebシステム
  - ソーシャルアプリ， ソーシャルゲーム

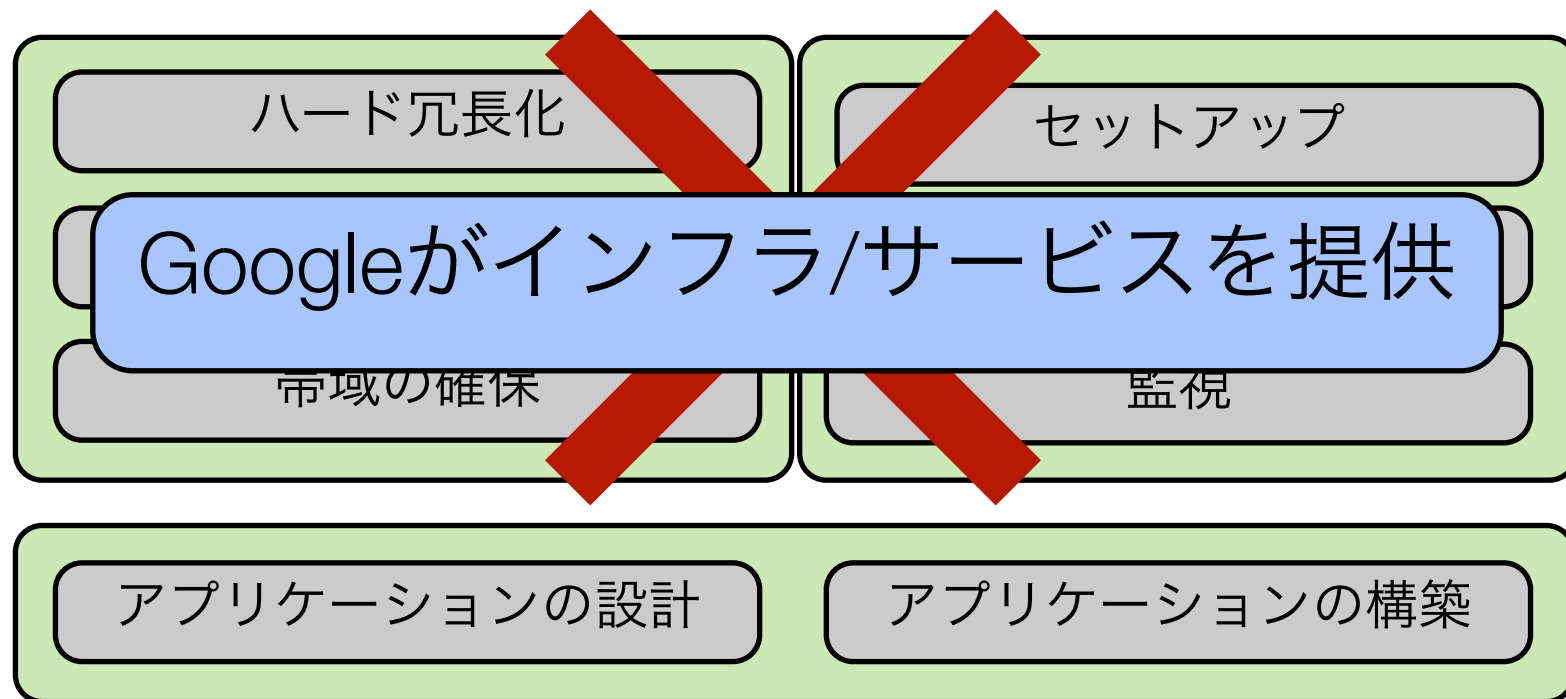
# 技術は成熟するとレイヤーが増える



# レイヤーが増えると

---

- ニーズが明確化する
- コモディティ化する
- 価格競争が起こり，参入障壁が高くなる(一人勝ち)



# どう生き残るか

---

- ガラパゴス化する
  - プライベートクラウド
- 寄生する
  - クラウドと高い親和性を持つサービス
- 隙間を狙う

# まとめ

---

- 先端技術はめまぐるしく進歩する
  - 競争原理もビジネスのルールも変わる
- 周囲を観察して、いち早くよりよい場所に身を移すのがよりよく生きるための秘訣